

## あしあと (Footprints)

この詩は、長い間、作者不明とされてきました。ところが思いがけないところから作者が判明しました。カナダに住むマーガレット・F・パワーズさんは、夫と娘が水難事故に巻き込まれ、自分も腕を折るという試練の時、「この詩をお読みすれば、きっと励ましになると思う」と看護婦さんが夫に読んでくれたという詩を開いて驚いた。なぜなら、それは彼女が若い頃に作った「フット・プリント(あしあと)」という詩だったからです。

(原文?)

One night a man had a dream. He dreamed he was walking along the beach with the Lord. Across the sky flashed scenes from his life. For each scenes he noticed two sets of footprints in the sand; one belonged to him, and the other to the Lord.

When the last scene of his life flashed before him, he looked back at the footprints in the sand. He noticed that many times along the path of his life there was only one set of footprints. He also noticed that it happened at the very lowest and saddest times in his life.

This really bothered him and he questioned the Lord about it. "Lord, you said that once I decided to follow you, you'd walk with me all the way. But I noticed that during the most troublesome times in my life there was only one set of footprints. I don't understand why when I needed you most you would leave me."

The Lord replied, "my precious, precious child. I love you and I would never leave you. During your times of trial and suffering. When you see only one set of footprint, it was then I carried you."

ある夜、彼は夢を見た。それは主とともに海岸を歩いている夢だった。その時彼の人生が走馬灯のように空を横切った。その場面場面で彼は砂浜に二組の足跡があることに気がついた。ひとつは主のもの、そしてもうひとつは自分のものであった。

そして最後のシーンが現れた時、彼は砂浜の足跡を振り返って見た。すると彼が歩んできた今までの道の多くの時に、たったひとつの足跡しかないことに気がついた。そしてそれはまた彼の人生で最も困難で悲しみに打ちひしがれているときのものであることに気づかされた。

彼はこのことでひどく悩み、主に尋ねた。「主よ、かつて私があなたに従うと決心した時、あなたはどんな時も私とともに歩んでくださると約束されたではありませんか。でも私の人生で最も苦しかった時、ひとつの足跡しかありません。私が最もあなたを必要としていた時、どうしてあなたは私を置き去りにされたのですか？ 私には理解できません。」

主は答えられた。「私の高価で尊い子よ、私はあなたを愛している。決して見捨てたりはしない。あなたが試練や苦しみの中にあつた時、たった一組しか足跡がなかったのは私があなたを携え歩いてきたからです。」

(邦訳・英文については、いくつかのアレンジ版が出ている) どれが原文?

### あしあと (Footprints)

ある夜、一人の男が夢をみた。

夢の中で彼は主イエスと共に、海辺を歩いていた。

空一杯に彼の生涯の色々な場面が、ひらめくように映し出された。

それぞれの場面に、二人の足あとが砂の上に、ついているのである。

一つは彼のであり、もう一つは主のものであつた。

彼の人生のラストシーンが、映し出されたとき、男は砂の上の足あとを振り返つてみた。すると、小道づたいに、一人分の足あとしかない所が、何度もあるのに気付いたのである。

「主よ、あなたはどんな時にも、私と一緒に歩いて下さると約束してくださいました。それなのに、私の生涯で、一番困つたときや苦しい時には、一人分の足あとしかないのです。どうして私があなただを、最も必要とした時期に、私を置き去りにされたのですか。」

「わが子よ、私はあなたから離れたことは、一度もなかつた。あなたが試練にあつて苦しんでいるあいだ、一人ぶんの足あとしかないのは、その時、私はあなたを、背負つていたからだ。」

### あしあと (Footprints)

ある夜、私は夢を見た。

私は、主と共に、なぎさを歩いていた。

暗い夜空に、これまでの私の人生が映し出された。

どの光景にも、砂の上に二人の足あとが残されていた。

一つは私の足あと、もう一つは主の足あとであつた。

これまでの人生の最後の光景が映し出されたとき、

私は、砂の上の足あとに目を留めた。

そこには一つの足あとしかなかった。

私の人生でいちばんつらく、悲しい時だつた。

このことがいつも私の心を乱していたので、

私はその悩みについて主にお尋ねした。

「主よ、私があなたに従うと決心したとき、あなたは、すべての道において、私と共に歩み、私と語り合つてくださると約束されました。それなのに、私の人生のいちばんつらい時、

一人の足あとしかなかったのです。  
いちばんあなたを必要としたときに、  
あなたが、なぜ、私を捨てられたのか、  
私にはわかりません」。

主は、ささやかれた。  
「私の大切な子よ、  
私は、あなたを愛している。  
あなたを決して捨てたりはしない  
ましてや、苦しみや試みの時に。  
足あとがひとつだったとき、私はあなたを背負って歩いていた」。

## Footprints

One night I dreamed a dream.  
I was walking along the beach with my Load.  
Across the dark sky flashed the scene from my life.  
For each scene, I noticed two sets of footprints in the sand, one belonging to me  
and one to my Load.  
When the last scene of my life shot before me  
I looked back at the footprints in the sand.  
There was only one set of footprints.

I realized that this was the lowest and the saddest times of my life.  
This was always bothered me and I questioned the Load, about my dilemma.

Load, you told me when I decided to follow You, You would walk and talk me all  
the way.  
But I'm aware that during the most troublesome times of my life there is only one  
set of footprints.  
I just don't understand why, when I need You most, You leave me

He whispered " My precious child, I love you all and will never leave you never,  
during your trials and testings.  
When you saw only one set of footprints it was then that I carried you"